

「健康都市に関する懇談会」第17回会議 会議要旨

1 開催日時

令和2年2月20日（木）

開会 午前10時

閉会 正午

2 開催場所

尾張旭市役所 3階 302・303会議室

3 出席した構成員（8名）

福嶋喜美子、木島千代子、土屋珠美、加藤 肇、梅村千代美、田口邦子、若杉浩二、山脇望美

4 欠席した構成員（4名）

岡本和士、山下昌代、谷口悦予、加藤隆憲

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

健康都市推進室長 川本英貴、室長補佐 谷口洋祐、主事 加藤豊子

7 議題等

(1) 令和元年度の取組状況及び今後の予定について（報告）

(2) 意見交換

8 会議の要旨

開会に先立ち、座長 岡本和士構成員の逝去（令和2年2月14日）の報告及び黙祷が行われた。
--

1 開会

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・健康都市推進室の職員の紹介・資料の確認・会議の進め方の説明・新たに構成員となった方の紹介 |
|--|

<p>・座長不在のため、職務代理者 若杉浩二構成員が会議の進行を行うことを確認</p>
<p>2 議事</p>
<p>(1) 令和元年度の取組状況及び今後の予定について</p> <p>・事務局から、資料に基づいて説明。 ・次のとおり意見が出された。</p> <p>●健康都市やSDGsという視点で見ると、説明のあったように犯罪の発生件数なども健康都市の指標にできるということかと思えます。一般的にはわかりにくい面もあるので、できる限り分かりやすく市民に伝えられると良いと思います。</p> <p>●愛知県が実施している「健康マイレージ」と「あさひ健康マイスター」の関連について説明してください。</p> <p>(事務局) 愛知県の健康マイレージ事業は、健康づくりに取り組んだ県民に対して「まいか」というカードを発行し、商業施設等の優待を受けられるようにすることで、県民の健康増進を図るものです。仕組みとしては、市町村がそれぞれ行っている健康づくり事業で、一定のポイントをためた方を対象に、県から市町村を経由して「まいか」を配布しています。尾張旭市においては、「あさひ健康マイスター事業」のポイントをためた方に対して、本市独自の特典(表彰・抽選記念品)のほかに、「まいか」を交付しています。なお、愛知県では、新たにスマートフォンのアプリで、健康マイレージ事業に取り組める仕組みを開発し、令和2年度から導入する動きがあるため、本市でも試行的に活用できないか検討を進めています。</p> <p>●スマートフォンは高齢者にはなじみにくいイメージがありますが、例えば血圧の記録などは、スマホがあればベッドの上でも気軽に記録ができるなど、メリットも多いので、ぜひ、導入を前向きに検討してください。</p> <p>●出かけるときに、手帳は忘れるかもしれませんが、スマホを忘れることは少ないと思いますので、新しい取組として、期待が持てる気がします。</p>
<p>(2) 意見交換</p> <p>・職務代理者の進行のもと、各構成員から次のとおり意見が出された。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の拡大が問題となっていますが、現在の尾張旭市の対応について教えてください。</p> <p>(事務局) 現在、市内での感染者発生情報はありますが、国内での感染者の増加の状況を踏まえ、本市でも対策本部の設置に向けた作業を進めています。市民の皆様に対しては、感染を未然に防ぐため、日常生活において、手洗い・うがいをしっかりしていただくことなど、基本的な事項の周知を図っています。なお、感染の疑いのある場合の連絡先は、瀬戸保健所です。電話(一般相談窓口、帰国者・接触者特別窓口)で相談して指示を受けていただくこととなります。今後も、新しい情報は市のホームページに掲載しますので、そちらを御覧ください。</p> <p>●先日、市営バスあさび一号の件で都市計画課に要望を行いました。あさび一</p>

号は、高齢者が住みやすいまちづくりにつながるもので、「外に出かけたくなるまちづくり」にも合致します。高齢者にとっての「衣食住」は、「医・食・住」です。「医」については、バス停の名前を、付近にある整形外科や町医者からスポンサー料をもらって変更することについて提案しました。「食」は、食事をするところやショッピングセンターと思います。私の住んでいる瑞鳳校区にはスーパーがないため、旧ヤマナカ（現フランテ）までルートを延伸してほしいという要望と合わせて、西部浄化センター付近のバス停は「ピアゴ前」とするなど、分かりやすく、買い物で外に出かけたくなるようなネーミングにできないか要望をしました。「住」は、友人の家などが考えられます。市営バスは、全体としてコース自体はよく考えられていると思うので、少しでも使いたくなるような工夫をして欲しいです。

（事務局）ただ今の意見は、担当課に改めて伝えます。ウォーキングガイドA-mapの各コースは、あさび一号のバス停とリンクしており、市営バスのホームページのQRコードを入れるなど、工夫しています。また、令和2年度から、高齢者タクシーチケットとあさび一号回数券が選択制になる予定であり、さらにあさび一号の利用が促進されると思います。

●運転免許証は、年を取ればいずれ返納しないといけなくなるので、あさび一号は、誰にとっても必要なものとなります。

●各コンビニにAEDが設置されているのは尾張旭市だけと聞き、調べてみたところ市内に全部で100か所以上あることが分かりました。多くの市民が知らないのは、もったいないと思い、私としては、まず子どもたちに知ってもらえるようにしたところです。尾張旭市内では、地元の人が子どもの様子を見てくれて、気になったことがあれば、すぐに電話してもらえるなど、市民の方の意識が高く助かっています。

（事務局）AEDについては、全国的にも先駆けた取組として、市内の全てのコンビニエンスストアへの設置を進めるほか、公共施設への設置にも努めてきました。多くのAEDを有効に活用するため、普通救命講習の実施と合わせて、スマートフォンの救命支援アプリの導入も行っています。ぜひ、多くの市民の皆さんに知っていただきたいところです。なお、A-mapにはAED設置場所のホームページにリンクできるQRコードを掲載しています。

●小学校の防災倉庫の中を見せてもらったときに、備蓄物資が少ないのでは、と思ったことがありました。

●毎年、防災の日などに備蓄物資の数を確認していると思います。設置してある倉庫によって、備蓄してある資材は異なると思います。

●9つの小学校区を、月1回ニュースポーツ体験会で巡回しています。体験会は参加自由、申込み不要で、校区を越えて親子で参加される方もあるなど、多いときは70人くらい来られます。

あさひ健康マイスターでは、ニュースポーツ体験会やジョギング大会の参加者にもポイントのスタンプを押していますが、毎回、手帳を持ってきていただける方がいるのを見ると、親子に対して浸透しているように思います。子ども

は親に連れてきてもらうことが多いので、参加者の増加は、親の参加意識によるところが大きいと思います。先ほど話題に出たAEDは、ジョギング大会のスタッフの事前講習会のメニューになっています。また、旭丘小学校区には、80軒くらい子ども110番の家があります。小学生に何かあったらどうするかを尋ねると、黄色いベストの人のところに行く、という答えが返ってきます。子どもたちの黄色いベストを着た人への信頼感は、却って心配になるほどに高くなっています。

(事務局) 地域での防犯活動をはじめ、自治会や町内会の活動はマイスターのポイントになるので、若い方からシニアの方まで、様々なところで活用してほしいと思います。

●シニアクラブの高齢者は、健康長寿を目指して活動しています。山の手さぎ草会の資源ごみの回収活動を紹介します。毎月第2土曜日、集会所に資源ごみを集める取組で、リヤカーで町内を回って回収する人のほか、女性3人を中心としたお茶当番、体が動かしづらい人など、各自ができる範囲で参加しており、集まることでコミュニケーションが生まれています。資源ごみを集めることで金銭的にも収入が増え、クラブ活動が活発になり、最近健康マージャンが認知症予防に良いということで盛り上がっています。

●無理をせずに、やれることから取り組むことで、活動が活発になっていく事例の紹介と思います。このように、無理せずにできることをやる姿勢が大切だと思います。

●先日、総合体育館でなわとび大会が開催されました。あさひ健康マイスターのポイントになることや、手帳を持参してもらうように、周知できると良いと思います。また、あさひ冬フェスタでポイントになるのはキャンドルナイトのみですが、児童館でも餅つき会などがあるので、それもポイントになると良いと思います。

(事務局) マイスター事業の周知としては、広報おわりあさひに、マイスター対象事業のロゴマークを入れています。チラシやポスターにもなるべく入れてもらうよう、事業担当課に依頼しております。児童館の餅つき大会については、来年度に向けて、担当課と調整したいと思います。

●健康づくり推進委員会は、平成16年度に市の講習会を受けた市民で発足しました。令和2年度には、第5期生として新しい会員の養成が行われるので、ぜひ若い人に入ってきてほしいと思います。らくらく筋トレ体操は、現在65か所で、約1,500人が取り組んでいます。30人いる健康づくり推進員が1～3人でチームを組んで教えに行っています。参加者の感想を聞くと、「楽しい」との声が多く、自宅から離れた場所では来ていただきづらいので、歩いて行ける範囲内に場があることが理想です。参加する皆さんの笑顔を見ることが、私たちのやりがいになっています。令和2年度には、健康づくり推進委員会主催の講演会を予定しており、らくらく筋トレ体操の効果についての研究成果の発表もしていただこうと思っています。

●らくらく筋トレ体操の普及が進んでいることや、その効果が高いことなど、

多くの人に知ってもらえる機会ができるといいと思います。

●様々な取組のお話を聞き、初めて聞いたことも多く、感動しました。私は大学で心理学を研究していますが、大学生や高校生、中学生で引きこもっている人が多い現状の中、LINEやFacebookを使って悩みの相談が寄せられるような状況もあります。体だけでなく、精神的な健康という観点から、一人で問題を抱えがちな若い世代や子育て世代に対してアプローチすることができると良いのではないかと思います。

●昨年の年末の新聞記事で、全国の1,900弱の自治体のうち、尾張旭市の住み心地のランキングが132位という報道がありました。調査検体はそれほど多くありませんが、実際に市内に住んでいる市民約160人が調査協力しているようで、心地よさや転入者のなじみややすさが評価されたものでした。一般的にこうしたランキングは、交通事情や病院の病床数などのハード面の比較が多いと思いますが、実際に住んでいる人がどう感じているのか、というランキングでも良い評価を受けているようで、もしかしたら健康都市の様々な取組が、こうした結果につながっているのではないかな、と思います。

(事務局) 体の健康だけでなく、心の健康やまちの健康に対しても、今日お集まりいただいた皆さんをはじめとして、様々な団体の活動が大きく貢献していると思います。今日の資料の中で、尾張旭市の健康都市の進捗度を知っていただくためにいくつかの指標を紹介しましたが、今後も周知に努め、また、今後の健康都市づくりに反映していきたいと考えています。

3 その他

(事務局) 本日はいろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。

会議の中で伺った意見は、事務局で整理し、今後の健康都市づくりに反映していきたいと思います。また、本日の会議録につきましては、調整の上、後日送付させていただきます。皆様のご了解を得たのち、市ホームページに公開いたしますので、よろしく願いいたします。

なお、皆様をお願いしております、懇談会構成員の任期は、今年度までとなっております。来年度からの2年間、令和2年度・令和3年度につきましては、改めて構成員を選任し、懇談会を実施してまいります。今後とも、皆様におかれましては、本市の健康都市の推進に御理解・御協力をお願いいたします。